

会 報

事務局より

子どもを守ろうプロジェクト | N飯塚

日 時：令和2年10月20～21日（2日間）9：00～

場 所：飯塚市伊規須地内 市立二瀬中学校・伊規須小学校横

内 容：子どもを守ろうプロジェクト | N飯塚

横断防止柵設置工 230m 区画線工 横断線2ヶ所 横断線予告2ヶ所

参加者：(株)九州標識、(株)KHK、(有)タナカ安全設備、(株)和幸産業、(株)フクモト、
(株)シンワロード 合計6社



この活動内容は、九州情報建設社（建設ナビ・10月22日）、九建日報（10月23日）、朝日新聞筑豊版（11月11日）、西日本新聞筑豊版（11月21日）に掲載されています。

皆様のご協力に、感謝致します。 ありがとうございます。

企画・制作 / 西日本新聞社メディアビジネス局

福岡県交通安全施設業協会が飯塚市に寄贈
子どもの安全を守る横断防止柵を施工

安全施設を寄贈するプロジェクトを推進
安全で円滑な道路交通の確保に取組む福岡県交通安全施設業協会が10月20・21日、飯塚市二瀬地区の市道に横断歩道と横断防止柵を施工し、同市に寄贈しました。

協会では、次元を担った子どもたちを交通事故や犯罪、災害から守る活動を全国的に展開している全国道路建設・標示業協会が推進する「子どもを守ろうプロジェクト」に賛同。今回のプロジェクトは、飯塚が独自に事業費を負担していた。

福岡県交通安全施設業協会の田中啓司会長は福岡、北九州、筑豊・筑後から毎年「エフエフ」を運んで寄贈しています。今年も筑豊エリアが対象。飯塚市と相談うえ、二瀬地区に決めましたと経緯を説明します。

飯塚市立二瀬中学校、伊規須小学校横に設置された横断防止柵の様子です。

小・中学校の通学路を240mにわたりガード
同地区は飯塚市立二瀬中学校、伊規須小学校、あいだうら小学校の3校が並ぶ立地です。児童・生徒が通学途中に利用する小規模な歩道橋をガードする柵約300m設置。柵の高さは80cmで、柵間にへり付けられないよう、25cm間隔で柵にパネルが取り付けられています。

柵の柵板は、飯塚市立二瀬中学校、伊規須小学校の児童・生徒が約300名が協力して製作しました。田中会長は「子どもたちの安全を守るために、飯塚市と協力して取り組んでいます」と話しています。

横断防止柵の設置は、今年度初めての地域活性化にもつながりました。

横断歩道は計4カ所を確保した。

11月9日、飯塚市市長が協会の田中啓司会長と一緒に行われた記者会見。田中会長が市長に感謝状を贈った。

約230mに渡り設置された横断防止柵。小・中学校横の歩道がガードされる。

パイプをほめて取付けた後、柵板と一緒にゴルトを締め付けていく。

作業は2日間、初日に柵の中に埋めて長さを調整。翌日にパイプをほめていった。

YESおえかきちゃん
YESおえかきちゃん

子どもたちが元気に安全に通学・通園できる環境づくりを目指し、ドライバーに思いやり運転を呼び掛ける活動で、西日本新聞社が2013年から展開しています。交通安全の約束を掲げた「YESおえかきちゃん」を福岡県内の幼稚園・保育園を中心に寄贈する他、県内企業や団体による交通安全の取り組みなどを紙面で紹介しています。

黄色いおむせ YELLOW SAFETYキャンペーン事務局 (イショップエージェンシー内) ● TEL 092-283-1780 平日09時～17時 FAX 092-283-1220 Eメール isop-a@fitcall.ne.jp

会 報

事務局より

